

# 017CR

ミニ油圧ショベル

**FIGA**



---

機械質量	1,620kg
------	---------

---

標準バケット容量	0.04m <sup>3</sup>
----------	--------------------

---

エンジン定格出力	11.8kW (16PS)
----------	---------------

---

国土交通省第3次基準値排出ガス対策型  
国土交通省超低騒音型建設機械

キャタピラー



# 使いやすさに、 多用途に、 充実装備の コンパクトミニ。

ファイガ  
**FIGA 017CR**



## 高機能、広く快適なオペレータスペース



### 足元ゆったり、ワイドな運転席

油圧パイロット方式のリスタイプ操作レバーを採用することにより、広い足元スペースを確保。前かがみにならず、自然でゆったりとした運転姿勢がオペレータの疲労を低減します。

### 12V電源ソケットを装備

ソケットタイプの12V予備電源を標準装備しています。



### 操作パターンが変更可能な コントロールパターンチェンジャー

レバーで簡単に2つの操作パターンに切替えられます。また、4つの操作方式に切替えられる4wayコントロールパターンクイックチェンジャーもオプションで用意しています。



### 安全を確保する油圧ロック

油圧ロックレバーをはね上げることで作業機（ブームスイングを除く）、旋回、走行をロック可能。また、油圧ロック時にしかエンジンが始動しないエンジンニュートラルスタート機構も装備しています。



## 盗難防止装置「SSキー」を標準装備

キーに埋め込まれたICチップのキーナンバーを機体が認識することで、はじめてエンジンが始動する盗難防止システムです。電気、油圧および燃料の3系統をロック。キー形状が同一でも、他のキーでは解除できないため安心です。



万一、個別キーを紛失しても「登録キー（赤キー）」を差し込み、別の「個別キー（黒キー）」を差し込むだけで新しいキー登録が完了。紛失したキーは使用できなくなります。

## 視認性を高めた一体型モニタパネル

ゲージ式の燃料計と冷却水温計、各種警告灯を見やすく配置しています。液晶パネルは、時計・エンジン回転数・稼働時間を切替により表示でき、車両トラブル時にはエラーコードが表示されます。また、SSキーもモニタ上で容易に登録可能です。

- ① 各種警告表示（燃料レベル/水温/バッテリー/他）
- ② 燃料ゲージ
- ③ 水温ゲージ
- ④ 液晶パネル
- ⑤ 表示切替ボタン



## 小回り性と高い安定性を両立



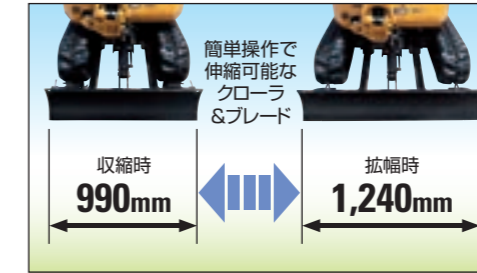
最小車幅  
**990mm**

### 狭所進入や搬送に適した クローラのスライド式拡幅機構

油圧によりレバー操作で簡単にクローラ幅が変更されます。収縮時には車幅が990mmとなり1m間口の進入が可能。搬送時には2t車も有効に活用できます。

### 伸縮式ブレード採用

クローラ幅に合わせてブレード幅も伸縮可能。ピンタイプのため伸縮作業も簡単に行えます。



### 狭い現場も安心な後方超小旋回

フロント最小旋回半径  
**1,210mm**  
(ブーム左スイング時)



クローラ拡幅時には車体後部がクローラ幅内に収まるため後方を気にせず旋回ができます。また、ブーム左スイング時にはフロント最小旋回半径も1,210mmとコンパクトです。

## 多用途に使える高い作業性

### 広い用途をカバーする ワイドな作業範囲

ひとクラス上の広い作業範囲。2tダンプへの積み込みもゆとりで対応します。



最大掘削高さ  
**3,540mm**  
最大掘削深さ  
**2,310mm**  
バケット掘削力  
**15.2kN**  
(1.55tonf)

### 壁ぎわ作業の効率を高める ワイドオフセット

大きなブームスイング角によりワイドなオフセットが可能。バケット側面が車幅よりも出るため壁ぎわやガードレールぎりぎりの側溝掘りに便利です。



最大オフセット量  
**510mm**

### 積み込み性を高めた 背面配置のブームシリンダ

ダンプベッセルとブームシリンダとの接触を気にせず積み込み作業ができます。また、岩などのかかえ込みも可能になりました。



### アタッチメント用油圧配管 (オプション)

各種アタッチメントに対応する油圧配管をオプションで用意しています。



## ハイパワー、 環境対応エンジン

低燃費で低騒音の高出力エンジンを搭載。米国EPAのTier4規制もクリアし、国土交通省第3次基準値排出ガス対策に適合した優れた環境性能も特徴です。

定格出力 **11.8kW(16PS)**



国土交通省  
第3次基準値排出ガス対策型

国土交通省  
超低騒音型建設機械

## 容易な日常点検



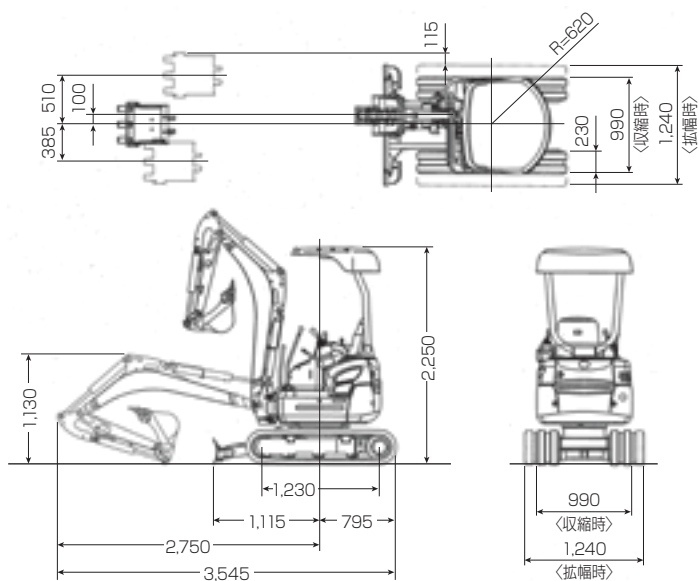
- 後部と左サイドカバーはフルオープンタイプです。
- 点検・整備箇所は地上から安全にアクセスできます。
- スイングシリンダ、旋回部への給脂は一か所にまとめた集中リポート式です。
- 工具などが入る収納ボックスを装備しています。



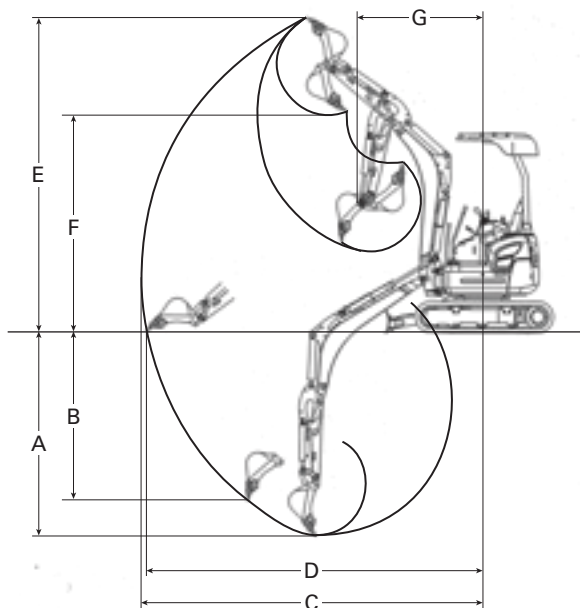


# FIGA 017CR ミニ油圧ショベル

## 外形図 (単位: mm)



## 作業範囲 (標準バケット装着時)



## 主要諸元

機種		017CR	
機械質量	kg	1,620	
機体質量	kg	1,360	
標準バケット容量	m <sup>3</sup>	0.04 (新JIS)	
標準バケット幅	mm	450 (サイドカッタ無: 400)	
掘削力	kN(kgf)	8.8 (863)	
バケット	kN(kgf)	15.2 (1,550)	
寸法	全長	mm	3,545
	全幅	mm	990
	全高	mm	2,250
	最低地上高	mm	150
	後端旋回半径	mm	620
	クローラ全長	mm	1,585
クローラ全幅	mm	990 (収縮時) / 1,240 (拡幅時)	
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	9.1	
走行速度 [高速 / 低速]	km/h	4.1 / 2.1	
登坂能力	度	30	
接地圧	kPa(kgf/cm <sup>2</sup> )	25 (0.25)	
エンジン	名称	クボタ D902-K3Aディーゼルエンジン	
	形式	4サイクル水冷直列3気筒	
	総行程容量	ℓ	0.898
油圧機器	定格出力 / 回転数	kW(PS) / min <sup>-1</sup> (rpm)	11.8 (16) / 2,300 (2,300)
	ポンプ形式	可変容量ピストン式×2+定容量歯車式×1	
容量	リリーフバルブ設定圧	MPa(kgf/cm <sup>2</sup> )	21.6 (220)
	燃料タンク (軽油)	ℓ	19
	ハイドロリックオイル	ℓ	全量21 / タンク13
	エンジンオイルパン	ℓ	3.5
	冷却水	ℓ	2.6 (リザーバタンク0.6ℓ含)

単位は国際単位系によるSI単位です。またバケット容量と掘削力は新JIS表示です。  
( )内は旧表示を併記したものです。

	017CR
A 最大掘削深さ	mm 2,310
B 最大垂直掘削深さ	mm 1,910
C 最大掘削半径	mm 3,900
D 床面最大掘削半径	mm 3,840
E 最大掘削高さ	mm 3,540
F 最大ダンプ高さ	mm 2,440
G フロント最小旋回半径	mm 1,440 (ブーム左スイング時: 1,210)
最大オフセット量	mm 左: 385 / 右: 510
ブームスイング角度	度 左: 65 / 右: 58
最大トラック外側掘削幅	mm 左: - / 右: 115
幅	mm 990 (収縮時) / 1,240 (拡幅時)
ブレード高さ	mm 265
最大上昇量	mm 280
最大下降量	mm 190

## バケットバリエーション

バケット容量	m <sup>3</sup>	新JIS表示	0.02	0.04	0.04
バケット幅	mm	サイドカッタ装着	300	400	500
		サイドカッタ無	250	350	450
			幅狭	幅狭	幅広

## オプション

- ダブルグロウサシュー
- アタッチメント用油圧配管
- 4wayコントロールパタークイックチェンジャー
- ゴムパッドシュー、アタッチメントにつきましては販売店にお問い合わせください。

## キャタピラー

本社(代表) 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 〒220-0012 TEL.045-682-3800  
(HPアドレス) [http://www.cat.com/ja\\_JP/](http://www.cat.com/ja_JP/)

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

CATERPILLAR, Caterpillar, CAT, Cat及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。  
FIGAはキャタピラー・ジャパン合同会社の登録商標です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させてください。  
掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。  
仕様は予告なく変更することがあります。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。  
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。

004596C1-05(JA)(1217)